



左・壁に開いた丸窓が印象的なエントランスホールはコンラン&パートナーズによるデザイン。
右・最上階の居住者専用ラウンジには、無料Wi-Fiを完備。セルフコーヒーも用意されている。

photo_Satoshi Nagare
text_Seishi Isozaki
edit_RCKT/Rocket Company*

19 六本木ヒルズレジデンスD

MORI LIVINGの家の鍵

緑とアートに溢れた住環境で
家族の大切な思い出を積み上げる

2003年の完成以来、国際都市・東京のランドマークとして親しまれてきた『六本木ヒルズ』。「文化都心」をコンセプトに、オフィス、住宅、商業施設、文化施設、放送センターなど、多彩な機能を高密度に集積させたこの街には、世界中から年間4,000万人の人が訪れる。「住む、働く、遊ぶ、憩う、学ぶ、創る」など、さまざまな目的を持った人々が集い、行き交うこの街の中心を貫くメインストリートが六本木けやき坂通り。年間を通して美しい草花で彩られ、年末年始はイルミネーションで華やぐこの通りには、11人の世界的なデザイナーが参加した大規模なストリートスケープ・プロジェクトが展開されている。街に彩りを添え、「文化都心」の形成に積極的な役割を果たすこうしたパブリックアートやデザイン作品を「とても気に入っている」と話すのは、5年前からこの通りに住むゴ・ウィミンさんだ。

「点在するアート作品を見ながら散歩するのは気持ちがいいものです。それに、この界隈は都心とは思えないほど緑も豊か。高層ビル群と緑が混在する風景は、故郷のシンガポールと似たところがありますね」。そう話すゴさんは、日本の大学を卒業した後、いったん帰国。2010年に再来日した際、家具付きのサービスアパートメント「六本木ヒルズレジデンスD」に入居した。現在は奥様の美津枝さんと2歳になる美嘉ちゃんとの3人暮らしだが、当初はまだ単身で、赴任期間も3年の予定だったので、家具付きの物件に絞って探すことにしたという。「六本木ヒルズレジデンスD」に決めた理由は、職場に



左・六本木ヒルズスパのラウンジで提供される朝食サービス。
右・プールも擁するヒルズスパは、お気に入りの場所の一つ。

近かったことに加え、外国人に対するケアが手厚いこと、そして何より、コミュニティ活動が盛んに行われていることに惹かれたからだ打ち明ける。「シンガポールでは居住者を集めてちょっとしたパーティをすることはあっても、積極的に居住者同志の交流を図るコミュニティ活動までは行いません。世界的にも珍しい例だと思います」。ハロウィンやクリスマスなどのパーティ、各種ワークショップ、日本文化を紹介するカルチャーセッションといったイベントもしっかりと企画・管理されており、スタッフも皆、親切だと評価する。「こうしたサービス提供やイベント企画のノウハウを、海外にも持ち込むといいと思います」と、真剣に話す。

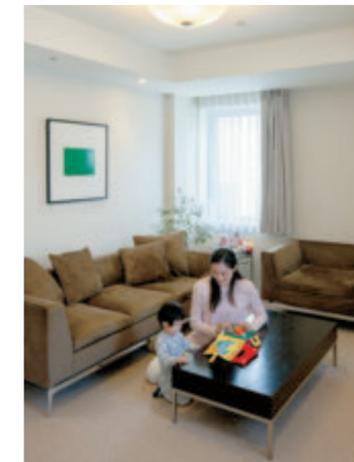
先日、味噌を作るワークショップに参加したという美津枝さんは、「小さな子どもがいるとどうしても行動が制限されてしまいますが、ワークショップ

は託児サービスがついていたので助かりました」と振り返る。こうしたコミュニティ活動を通して「ママ友」に出会えたり、国籍を超えた友達づくりの場になっていると感じている。D棟には短期滞在の外国人が多く、居住者の入れ替わりが激しいため、「なかなか長いお付き合いにはならない」のが残念だが、その分多くの出会いがある。様々な国籍の人々との交流を、一家で前向きに楽しんでいるようだ。

そんなゴ一家にとって、忘れられない思い出となったのが昨年参加した「Father & Daughter Party」だ。これは欧米では一般的だという父娘向けのダンスパーティで、「正装した父親が小さなレディをエスコートしてダンスをするのですが、まだよちよち歩きだった美嘉の手を取ってフロアに出たときは、胸が熱くなりました」と、ゴさん。2人を見守る美津枝さんも、娘の成長を目の当たりにして感動しきりだったという。ひとつ、またひとつと、家族の忘れられない思い出を積み上げることができる。ここではそんな暮らしが待っている。

居住者向けイベントが忘れられない思い出に

2014年10月の「Father & Daughter Party」に美嘉ちゃんは最年少で参加。エスコートしたゴさんは感慨もひとしおだったという。ほかにも年間を通じて様々な居住者向けイベントが用意される。



上・美嘉ちゃんがいはいしていた時期は、テーブルを隅に寄せて床を広くとっていたというリビング。たまには「気分転換のために」家具を動かすこともあるそうだ。
下・ベッドルームの一角に子供用のスペースを確保。

リビングダイニングで過ごす親子水入らずのひととき。日英両語で美嘉ちゃんに話しかけるゴさんからは笑顔が絶えない。



旅先で撮影した夫妻の写真が飾られた書斎のデスク。眼下に臨む六本木けやき坂通りの賑わいは、ここまでは届かない。

ROPPONGI HILLS RESIDENCE D

六本木ヒルズレジデンスD

所在地：東京都港区六本木6丁目12-4 / アクセス：六本木駅 徒歩約5分 [地下鉄日比谷線・大江戸線] 麻布十番駅 徒歩約9分 [地下鉄南北線・大江戸線] / サービス：24時間フロントサービス (バイリンガル対応)、室内メンテナンスサービス (一部有料)、ハウスキーピング (有料) / 備考：駐車場あり (空き状況により利用可)、都内に5箇所ある「ヒルズスパ」を利用可

お問い合わせ：森ビル株式会社 住宅事業部
電話：0120-52-4032 www.moriliving.com



都心のパノラマを一望できるルーフガーデンは美津枝さんのお気に入り。「静かで気持ちいいので、もっと活用したい」とのこと。

